

〈3年国語科より〉

学年通信その壱の発行から2週間が経ちましたが、課題の進捗はどうでしょうか。各教材を満遍なく進めていれば、4月21日（火）時点で次の段階まで到達しているはずです。

- ・センター試験過去問は一週間に1回分を想定しているので、**2回分**
- ・マストアイテム確認テストは**第14回**まで（本体でいえば105ページまで）
- ・『錬成漢文』は2日に1回とすれば**問題24**（新傾向問題も忘れずに！）まで
- ・精選漢文は**確認問題10**まで

ほかの教科との兼ね合いで多少前後することもあるでしょうが、国語や英語などの言語学習は継続できるかどうかが勝負。たとえ苦手意識がある場合でも「古典に三日以上触れていない！」ということが無いようにしてください。

また、シラバスを見て授業の予習もおきましょう。よほどのことが無い限り、『無名草子』は授業で扱う予定です。

※センター試験過去問について

勉強方法は学年通信に書いた通りですが、「一通りやってみたものの次にどうしたらいいかわからない……」という人へ。

①合っていた問題の確認

選択問題では、「たまたま合っていた」ということが起こります。本番では「運も実力のうち」ですが、現段階でそれが起こってしまい、正解したからといってしっかり解説を読まずスルーしてしまうと、力がつきません。「次にこの問題を見たときに、**間違いなく正解を選べるか**」という基準で見直しをしましょう。

②本文理解の確認

評論・小説は、見直しの時も傍線部にかかわる部分だけに意識が向き、本文全体を理解することなく終えてしまいがちです。しかし、センター試験で出題された文章は教材としても第一級ですから、しっかり理解しておいて損はありません。具体的には、各形式段落をノート1行程度に要約してみて、それを『本文解説書』と比較するのがよいでしょう。

平成26年本試古文など、問題によっては非常に難しいものもあります。問題が解けたかどうかに一喜一憂せず、解説を読んで解答までのプロセスをつかむことや、忘れていた単語・文法・句法をしっかり定着させることを大事にしてください。